

Rev.5 Ver 3.1

THE_MOUSE $\rightarrow$ THE_MOUSE_OFF $\rightarrow$ Crab_Nebula

Battery Condition (min/max)

Maneuver Operation

Start Time	Target Name	#	(α, δ)	(ϕ, θ, ψ)
09/15 02:30	THE_MOUSE-OFF	6	(266.1667, -29.3417)	(266.4012, 119.2892, 171.0544)
09/15 09:20	Crab_Nebula	1	(83.6330, 22.0145)	(83.4206, 68.0551, 0.6480)

Comment: 本日の運用:

ASCA observed "the Mouse" (PI:Sakano,SNR), a non-thermal radio structure near the Galactic center. At least two sources were detected with the SIS and GIS. The brighter one had a counting rate of 1.7 cts/s/SIS/ $r < 1'.3$. Another source had one of 0.6-0.8 cts/s/SIS/ $r < 1'.3$. The emission in low energy was strongly absorbed ($N_H \sim 3 - 5 \times 10^{22} \text{ cm}^{-2}$).

The Mouse の観測で得られたスペクトラは、2keV 以下で大きな吸収がかかっており、まさに、ASCA にうってつけの天体ですね。

明るい二つのソースは、The Mouse のそばの binaries,SLX7144-300, SLX7144-299 です。メインターゲットの The Mouse は、、、、暗くて分かりません。

The_Mouse の観測では、SIS-LD は KSC の判断で 0.48 keV を、ということでした。本日 1pass で降りてきた data の内、bit-med で、S0C1,S1C3 とともに飽和していましたので、2pass real で、S0,S1 とともに LD on を打ちました。

土曜日に降りてきた XTEJ1550 は、初めての明るい天体だと期待してたら、明るすぎて中心がサチッてしまいました。しかも、初めて bright mode のデータだったので、データの処理に非常に手間取ってしまいました。やはり、どういう処理をしているかをちゃんと理解せずに、紙に書いてある通りにコマンドを打っていくのは、良くないですね。そんなこんなで、今日はようやく、ちょうどいい明るさの天体が見れました。しかも、GIS では、くっついて見えるけど、位置分解能のいい SIS では、イメージはちゃんと二つに分かれていました。初めてフィッティングもできたし、今日はとても嬉しいです。(阿久津)

— 運用関係終了 —

KSC 来ると、TV で華原ともみを見ることができるし、空には天の川を見ることができる (TT)。